

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本農芸化学会2019年度大会
演題名	DIUTHAMEへのプロットイングを用いたイメージング質量分析法によるイチゴ果実中の糖、有機酸、およびアントシアニンの可視化 【優秀発表】
発表者	○榎元 廣文 ^{1,2,3} 、山根 久和 ¹ 、八田 一 ⁴ 、瀧本 未羽 ⁵ 、小谷 政弘 ⁵ 、大村 孝幸 ⁵ 1帝京大・理工・バイオ、2帝京大院・総合理工、3帝京大・先端機器分析センター、4京都女子大・家政・食物栄養、5浜松ホトニクス（株）
内容	本発表では、浜松ホトニクス社製のDesorption Ionization Using Through Hole Almina membrane (DIUTHAME)が、イメージング質量分析用のプロットイング基板としての利用可能かどうかの検討を行った。その結果、イチゴ断面の成分をDIUTHAMEにプロットイングしイメージング質量分析を行ったところ、主な甘味成分であるスクロース、酸味成分であるクエン酸、および色素・機能性成分であるペラルゴニジンを可視化することができた。以上より、イメージング質量分析法におけるDIUTHAMEへのプロットイングは、イチゴ成分の可視化に有効な手法であることが示唆された。 なお、本発表は、優秀発表に選出され、口頭発表の他、ポスター発表も行った。
関連画像	